

平成27年度砺波市男女共同参画市民委員会 会議要録

| | | |
|---|-------------|---|
| 1 | 会議の名称 | 砺波市男女共同参画市民委員会 |
| 2 | 会議の日時 | 平成27年11月9日（月） 午後3時～午後4時30分 |
| 3 | 会議の場所 | 砺波市役所 3階 特別会議室 |
| 4 | 出席者 | <ul style="list-style-type: none"> ・委員 12名（三井会長、山本副会長、荒木委員、池田委員、大井委員、小西委員、里子委員、杉浦委員、鈴木委員、田辺委員、藤澤委員、森委員） ・砺波市 3人（横山企画総務部長、島田企画調整課長、端谷広報協働係長） |
| 5 | 議題 | <p>砺波市の男女共同参画に関する取組状況について</p> <p>砺波市男女共同参画推進計画（第3次）策定について</p> |
| 6 | 公開の明示及びその理由 | 公開 |
| 7 | 審議の概要 | <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長挨拶 3 委員の紹介 4 会長、副会長選出（三井和弥、山本吉弘） 5 砺波市の男女共同参画に関する取組状況について <ol style="list-style-type: none"> (1) 砺波市男女共同参画推進計画（第2次）の概要 -資料1により説明-【事務局】 (2) 砺波市男女共同参画推進計画（第2次）の進捗状況 -資料2により説明-【事務局】 6 砺波市男女共同参画推進計画（第3次）策定について <ol style="list-style-type: none"> (1) 砺波市男女共同参画推進計画策定の骨子とスケジュール -資料3・4により説明-【事務局】 (2) 市民アンケート結果 -資料5・5-付により説明-【事務局】 (3) 砺波市男女共同参画推進計画の基本方針（案） -資料6により説明-【事務局】 7 意見交換 |

【委員】

・アンケート結果を見て、男性のDVが意外とあるのは驚きである。

【事務局】

・相談体制が整ったことにより、相談する人が増え、数字として表れたともいえる。

【委員】

・今の実態は労働市場が広がってきており、女性が働きやすい環境になってきているが、女性の正社員の割合が下がっている。派遣法の見直しということで規制緩和され、派遣労働者が増える方向がある。女性の働く場は増えるが、正社員としては増えないという実態から、正社員として長く働けるように、朝早くや夕方保育時間の延長を望む。

【事務局】

・「総合戦略」の中でも人口減少を防ぐために子育て環境を整えていくことが大事な視点であると考えている。保育環境の充実も外せないの、「男女共同参画推進計画」の中でも取り入れていきたいと考えている。

【委員】

・男女「平等」という言葉に違和感がある。「公平」という言い方に変えられないか。男女にはそれぞれ性の持つ特性があるので、何でも一緒でなくてよい。女性らしく、男性らしく生きていけるような環境づくり、性に合わせた生き方ができることが望ましい。

【事務局】

・「平等」・「公平」は、文言の中でどちらが適当か、研究会等で検討していく。

【委員】

・女性の活躍推進法が施行され、女性の管理職を増やすことや、職域拡大や事業主の行動計画を作るようになど言われているが、実際、企業の女性でアンケートを取ると、管理職になりたい女性は1割強程度で、管理職になるのを望んでない女性もいる。審議会の女性委員を増やすのはいいが、管理職3割を目指すことは、女性の活躍といえるのか。それよりも、女性であるという理由で管理職になりたくてもなれていない等の実態を把握して是正していくことを目標にあげたほうがよい。

【事務局】

・管理職を望んでいるのに女性であるがゆえにかなえられないというのを防ぐ仕組み作りが大事である。

【委員】

・事例発表や表彰をしてイクメン・カジダンを地域に根付いた活動にしたらどうか。学校教育の中では、男女平等よりも人権の尊重が大事である。PTA活動や地域活動などで研修をするなど、すそ野を広げて推進するのが望ましい。

【事務局】

・推進員連絡会で、各地域でいろいろと推進活動していただいているので、さらにご協力をお願いしていきたい。

【委員】

・地域コミュニティの中で、女性の地域参加が、特に若い方で関わりたくないという人が増えている。婦人会等お世話されている方の意識が徐々に変わってきている。地域社会での女性の参加は重要であるので、できるだけ続けられるように工夫してほしい。できることだけ続けられようをお願いしたい。

【委員】

・婦人会は地縁、地域に住んでいる女性の集まりである。よりよい地域づくりを行政や男性に任せるのではなく、自分たち自身が住みやすく明るい地域を作り上げていくこととしている。地域のつながりは大事であることをお伝えしているが、若い人には婦人会の良さをなかなか理解してもらえない。地域の中で、婦人会加入の有無がある現状から不公平感が生まれている。婦人会活動の中で、企画運営は婦人会ですが、行動は女性・男性みんなでするなど、やり方を工夫していかなくてはならない。皆さんの助言や協力をお願いしたい。

【委員】

・男女平等と共同参画の意識づくりが一番大事だと思うが、第3次の計画では、意識づくりが弱くなっているように感じる。学校での教育も大事なことと思う。今回、大きな基本目標からはずされた理由は？

【事務局】

・策定研究会の中でも、基本目標の一番を「女性の活躍」ではなく、「男女平等の意識づくり」にすればどうかという意見があったが、第3次の計画は、県の計画にあわせて体系を作っている。意識づくりは継続していくことが重要であるので、意識づくりが強調できるように文言を検討する。

【委員】

・女性の活躍は、すべての分野で必要であるのに、農林業・商工業のみをあえて別枠として掲げているのはどうしてか？

【事務局】

・農林業・商工業では、特に男性が中心となっている、女性は力の面ではかなわないという理由もあり、特に強調している。また、これは国や県の文言に合わせたものである。ただし施策は、第2次内容を同様に引き継ぐこととしている。

【委員】

・若い人が関わりたく現状は自分も含めて理解できる。アンケートの回答を、20代30代の人よりも多く答えてもらえればと思う。

【委員】

・PTAや母親クラブのいろいろな行事、地域の運動会等には、地元の人の参加が多い。

・共働きの家庭、核家族が多くなっているので、土日は子供の行事・送迎など、親の自分たちしか子どもの面倒をみれない現状と、参加したくてもできないということもわかってほしい。

| | |
|-----------------------|--|
| | <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5年後のアンケートの対象者を比較できるように同じ人に調査できないか? <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回、回答された方は高齢の方が半数近くだったので、若い方の回答率を上げるよう、ネット回答など検討する。 <p>8 閉会</p> <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、ご意見・ご提案等があれば、様式を配布しているので、FAX・メール等で事務局へ提出願いたい。 ・ 本日のご意見は、今後の新しい計画の参考とさせていただきたいと思う。次回の会議の開催は2月を予定している。 |
| <p>8 会議の主管課及び問合せ先</p> | <p>砺波市企画総務部企画調整課 0763-33-1111 内線204 kikaku@city.tonami.lg.jp</p> |